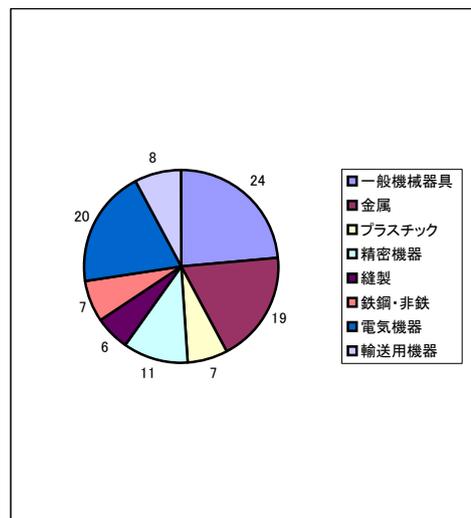


受注動向

- 調査時点 平成20年4月調査(20年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 102社(回答率:68.0%)
(一般機器24社、金属19社、プラスチック7社、精密機器11社、縫製6社、鉄鋼・非鉄7社、電気機器20社、輸送用機器8社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

一般機械器具	24	23.5%
金属	19	18.6%
プラスチック	7	6.9%
精密機器	11	10.8%
縫製	6	5.9%
鉄鋼・非鉄	7	6.9%
電気機器	20	19.6%
輸送用機器	8	7.8%

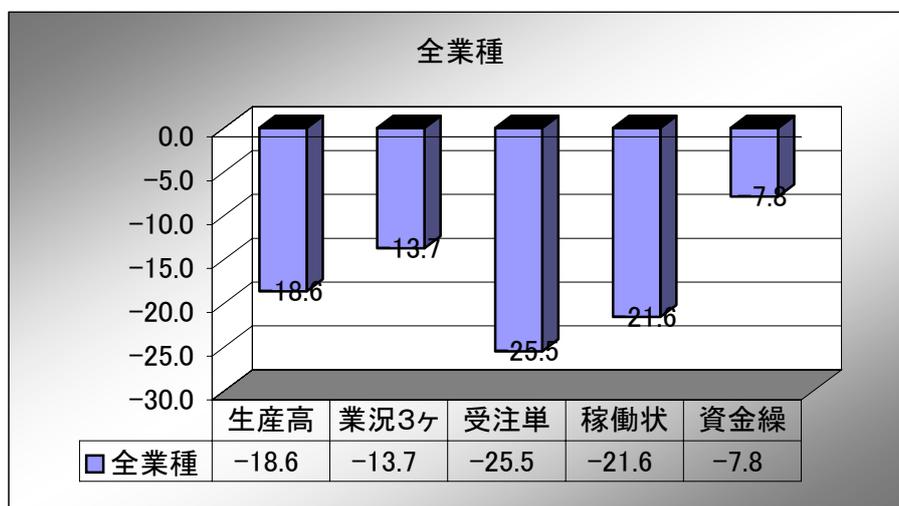


■ 全業種

生産高の対前年同月比は、▲18.6ポイント(前回▲12.2)と減産傾向で、稼働状況の対前年同月比も▲21.6ポイント(前回▲4.4)と悪化傾向である。

業況3ヶ月先見通しは、▲13.7ポイント(前回▲16.7)と厳しい見通しで、受注単価の対前年同月比では、▲25.5ポイント(前回▲18.9)と以前厳しい状況である。

資金繰りの対前年同月比では、▲7.8ポイント(前回▲13.3)と若干の改善が見られる。



■ 生産高・稼働状況

生産高の対前年同月比は、「輸送用機器」12.5ポイント、「精密機器」0.0ポイントと増加または変わらずである。一方、「プラスチック」▲42.9ポイント(前回▲33.3)、「縫製」▲33.3ポイント(同▲6.0)、「一般機械器具」▲25.0ポイント(同0.0)、「電気機器」▲25.0ポイント(▲14.3)と大幅な減産傾向である。

稼働状況の対前年同月比は、「精密機器」9.1ポイント(前回0.0)と改善している。一方、「プラスチック」▲42.9ポイント(同▲11.1)、「電気機器」▲30.0ポイント(同6.3)、「一般機械器具」▲2

■ 受注単価・資金繰り

受注単価の対前年同月比は、「鉄鋼・非鉄」42.9ポイントと横ばい。「一般機械器具」▲25.0ポイント(前回▲33.3)とやや改善。「金属」「プラスチック」「電気機器」「輸送機器」はいずれも大幅な悪化
 資金繰りの対前年同月比は「金属」▲4.2ポイント(前回▲25.0)「精密機器」0.0ポイント(▲12.5)は改善傾向。一方、「プラスチック」▲42.9ポイント(前回▲33.3)はさらに厳しい状況。「一般機械器具」「縫製」「鉄鋼・非鉄」「電気機器」「輸送用機器」は横ばいである。

■ 3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは「プラスチック」0.0ポイント(前回▲33.3)「縫製」「鉄鋼・非鉄」▲28.6ポイント(同▲42.9)「輸送用機器」▲25.0ポイント(同▲42.9)が改善傾向。一方、「精密機器」▲9.1ポイント(同12.5)「電気機器」は悪化傾向。「一般機械器具」「金属」は横ばい。

